CASBEE® 名古屋　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市独自の地球温暖化対策強化等マニュアル2016　使用評価ソフト：CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)名古屋市千種区高見一丁目計画　新築工事	階数	地上7F
建設地	名古屋市千種区高見一丁目904番	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	125　人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640　時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月　予定	評価の実施日	2026年8月27日
敷地面積	1,351　㎡	作成者	
建築面積	791　㎡	確認日	2026年10月6日
延床面積	3,142　㎡	確認者	

1-2 外観

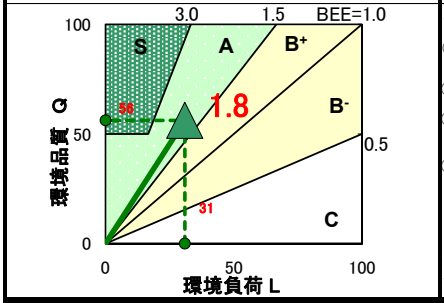
外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

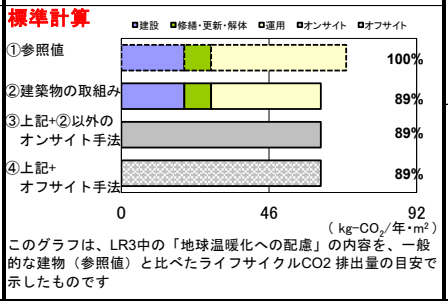
BEE =1.8

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



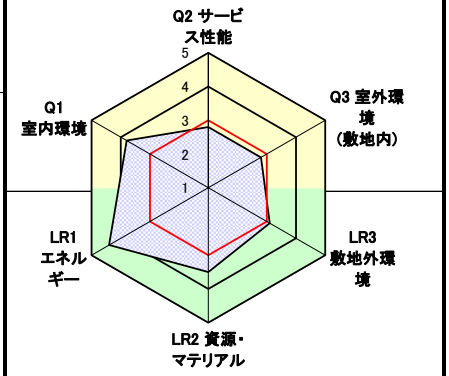
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

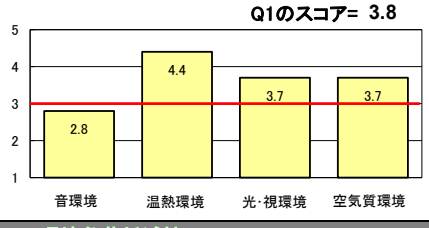
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



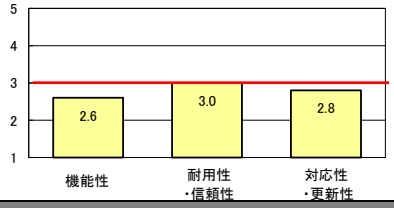
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.2

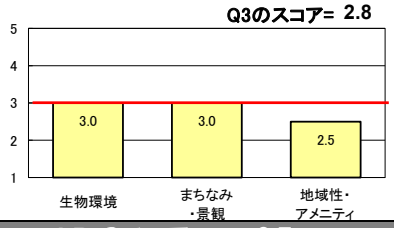
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.8



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 2.8

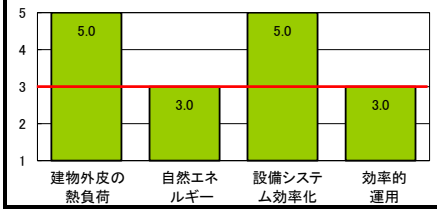


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.8

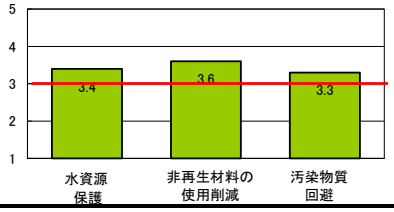


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.7

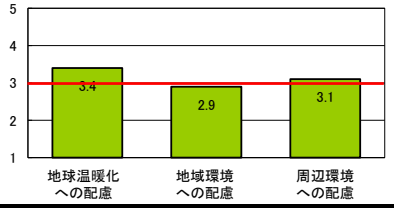
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 4.4



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.5



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.1



3 設計上の配慮事項

総合
名古屋市千種区に建設される共同住宅である。

その他
特になし

Q1 室内環境
窓面積を多くし、昼光制御の配慮をすることで快適な室温が実現できる計画としている。

Q2 サービス性能
耐用年数の長い内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。

Q3 室外環境（敷地内）
敷地内緑化により、緑の量の確保に配慮している。

LR1 エネルギー
高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。

LR2 資源・マテリアル
リサイクル資材の採用によって、部材の再利用可能性向上を図り、省資源化に配慮している。

LR3 敷地外環境
広告物照明を行っていないことにより、光害抑制となっている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE名古屋　評価結果

重点項目スコア・結果シート

(仮称)名古屋市千種区高見一丁目計画　新築工事

■使用評価マニュアル：　CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト：　CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目			評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策					4.1
LR1	エネルギー		4.4	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮		3.4	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.05	
2. 自然共生					2.9
Q3.1	生物環境の保全と創出		3.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮				
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.045	
3. 循環型社会					3.5
LR2.1	水資源保護		3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減		3.6	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制　※2		2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点　＝ 4.1



2. 自然共生

評価点　＝ 2.9



3. 循環型社会

評価点　＝ 3.5



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{\text{(評価点×全体に対する重み)の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1　ここでは、Q3．3．1の評価する取組みのうち評価項目　I　2）地域性のある材料の使用　又は、Q3．2において評価する取組みのうち評価項目　4）地域性のある素材による良好な景観形成　のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3．3．1の全体に対する重みに0．2を乗じたものとしている。

※2　ここでは、LR3．2．3のうち、LR3．2．3．3　交通負荷抑制　を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3．2．3の評価点とは異なるものである。